

建設機械整備 標準作業工数表 (除雪機械編)

第10版 発行のご案内

建設機械整備標準作業工数(除雪機械編)は、昭和56年4月に第1版が発行されて以来全国の国や県・市町村に広く利用され第9版を重ねてきました。本標準作業工数表は官公庁と整備業者が共通の認識を基に、相互に共用できる適正な整備作業工数として多方面から使用され、除雪機械の運用管理や除雪用機械の整備業務計画の合理化のため、大きく役割を果たしてきました。

こうした中、「排出ガス対策規制強化による機械の見直し」、「除雪グレーダの機種統合」、「除雪ドーザの生産中止や事業譲渡」が行われ、現在の工数表が適用できない作業項目が数多く見られてきたことから見直しを行い、第10版の発行を行うものです。

◆ 発行予定

- ・令和元年7月上旬

◆ 掲載機種

掲載機種は、平成22年度から平成30年度までに発売された機種を掲載します。本標準作業工数表に掲載されていない旧機種については、平成22年発行の「建設機械整備標準作業工数表」により算出することになります。但し、塗装のみの工数については、平成21年度以前の機種についても本工数表を適用します。

◆ 販売価格

- ・一般価格 8,640円 (本体 8,000円)
- ・会員価格 6,480円 (本体 6,000円)

(注) 送料は1冊700円(複数冊の場合は別途)

*2019年10月から本体価格+消費税10%となります。

◆ 掲載内容

【除雪用機械編】

1. 除雪トラック
2. 除雪グレーダ
3. ロータリ除雪車
4. ロータリ除雪装置
5. 除雪ドーザ (ホイール式4t~19t級)
6. 凍結防止剤散布車及び散布装置
7. 小形除雪機



【共通編】

1. 建設機械管理システム

【維持用機械編】

1. 草刈装置 (ロータリ除雪車用)



建設機械整備
標準作業工数表
(除雪機械編)

令和元年

建設機械整備技術委員会